

# 継続的なモニタリングを実行したい！

## 研究者・県庁の声

過去と現状の変化を『感覚的』ではなく、『数値』で見られるように継続的な観測をしたいが、予算と人が足りない…

## NPO・県庁の声

若い人にもっと有明海について興味を持ってほしい！！



## ①こんな方法は？

小学校や中学校の教育機関などを利用し、授業の一環として、有明海の干潟での移動教室を開く。フィールドで調査を行ったり、採取したものを研究機関に提供する。

## ②実際どんな授業を？

学年毎に調査の内容を変える事で、より多くの種類のデータを集める事ができる。更に、毎年8年間有明海に足を運ぶことから、今より身近に感じる人が増える。

### 小学 1~2 年生

有明海に訪れ  
どのような生き物がいるのか  
生物採集・観察をする

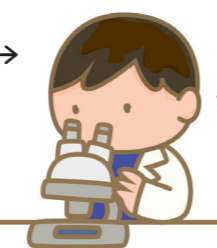


- こどもの頃から有明海に親しみやすくなる
- 干潟の生物多様性を体感することができる

### 小学 3~4 年生

有明海の泥を採取し、  
他の浜辺の泥質を  
比べてみる

集めた泥はそのまま  
研究機関へ→



- 調査・研究人員不足の解消
- 研究で得られた分析結果を知ること、有明海をより深く理解することができる

### 小学 5~6 年生

干潟生物調査を実施する

- 確認できた生物
- 住んでた場所
- 生活痕跡などを記録する

- 個数を定期的に確認することで、生物の変動が数値データとして見やすくなる

### 中学 1~2 年生

有明海に流入する川の  
パックテストなどを利用した  
水質調査と生き物調査



- 水質調査を定期的実施することで、海での環境変化も予測しやすくなり、漁業への対応が早くなる

## 実行する上での難点

- 人材不足** 小・中学校の現場に有明海のことや干潟のことをよく知る先生が少ないのでは？
- 安全性** 干潟に小学生を連れて行くのは危険なのでは？
- 環境保全** こども達が多く訪れることによって、環境に悪影響がでるのでは？

## 必要な協力

- ● 佐賀大学の研究者
- ● NPO ぐるりんネット / 佐賀県庁 自然環境課
- ● 佐賀県庁 自然環境課